

平成25年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	石綿含有廃棄物無害化処理技術認定事業		担当部局庁	大臣官房廃棄物・リサイクル対策部		作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成19年度～		担当課室	産業廃棄物課		産業廃棄物課長	塚本直也		
会計区分	一般会計		政策・施策名	4. 廃棄物リサイクル対策の推進 4-4 産業廃棄物対策 (排出抑制・リサイクル・適正処理等)					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律(昭和45年法律第137号)第15条の4の4		関係する計画、通知等	—					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	人の健康又は生活環境に係る被害を生じるおそれのある石綿を含む廃棄物について高度な技術による無害化処理を促進するため、平成18年に廃棄物処理法の一部改正し、石綿無害化処理に係る大臣認定制度を創設。高度な無害化処理技術を有する事業者からの申請に基づき、個別に審査し、認定することにより石綿含有廃棄物の適正かつ円滑な処理を実現する。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	石綿廃棄物に係る無害化処理認定申請の審査及び新たな無害化処理技術に係る評価・検討を行うに当たり、廃棄物処理、石綿、環境影響評価、化学分析等の各分野に関し専門的知識を有する学識経験者等からの意見を聴取するため、「石綿廃棄物の無害化処理に係る技術等審査委員会」を設置した。 また、石綿廃棄物無害化処理認定申請があった内容について、無害化処理の内容の基準、無害化処理を行い又は行おうとする者の基準(申請者が当該申請に係る無害化処理を適確に、かつ、継続して行うに足る経理的基礎を有するか否かの審査を含む。)及び無害化処理の用に供する施設の基準への適合状況について評価を行った。								
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求			
		当初予算	12	12	8	6	5		
		補正予算	0	0	0	0			
		繰越し等	0	0	0	0			
	計	12	12	8	6	5			
	執行額	8	12	7					
執行率(%)	67%	100%	88%						
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)	
	高度な技術による大臣認定制度の円滑な施行を図るため、無害化処理技術の評価・検討及び審査に関し、申請の審査及び各種無害化処理技術の評価・検討に資する。		成果実績	者	2	0	2		
				達成度	%				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	事前相談会開催 2件		活動実績 (当初見込み)	回	6	2 (7)	1 (4)	— (1)	
単位当たりコスト	●本審査・事前相談会開催等 (350万円/1件平均)		算出根拠	7百万円÷2件					
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由					
	環境保全調査費	6	5						
	職員旅費	0.1	0.1						
	計	6	5						

事業所管部局による点検						
項目			評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	廃棄物処理法に定める大臣に認定に係る業務であり、高度は技術審査のためには重要な業務である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	一般競争入札により競争性は確保している。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		—			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	2件の技術事前相談と1件の大臣認定に至った。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	今後大量に発生の見込まれる石綿含有廃棄物の処理体制確保のためには、国による石綿無害化処理認定制度は需要である。また、申請書の審査に当たっては、高度な技術的知見や経理的基礎等会計処理に係る専門的知識が必要であり、申請に対して正確かつ迅速に事務処理を行うためには、更なる技術的知見の収集と効果的・効率的な技術等審査委員会の運営が必要となる。					
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業内容の改善	事業内容を見直すなど、事業をより効率的・効果的に実施することにより、予算額を縮減すべき。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
縮減	人件費等を見直し、事業をより効率的・効果的に実施することにより、予算額を減額。					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	136	平成23年	128	平成24年	136

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

環境省
7百万円



【一般競争入札】

A.(公財)産業廃棄物処理事業振興財団
7百万円

- ① 技術等審査委員会の設置及び運営
- ② 現地調査の実施
- ③ 新たな処理技術に関する知見の収集
- ④ 申請内容と委員会審査内容の整合性評価

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかにつ
いて補足する)
(単位:百万
円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.(公財)産業廃棄物処理事業振興財団			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	本業務は請負契約であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼を行ったところ回答を得ることができなかった。	7			
計		7	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(公財)産業廃棄物処理事業振興財団	石綿廃棄物無害化処理認定及び技術検討業務	7	2	92